

単元名 ひらがなの筆使い

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 「結び」の筆使いを理解し、形の違いに気を付けて、正しく書くことができる。
 (2) 「結び」の筆使いについて考えて書くことができる。
 (3) 横と縦の「結び」の形の違いに気を付けて書こうとする。

標準的な展開例

04020104_001

【教材名】『はす』(毛筆)／レッツ・トライ 理科のノート／レッツ・トライ けい老の日のほがき
 (P. 24～P. 29)

【準備等】水書板、電子黒板、練習用紙、理科ノート、はがき

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 「結び」の筆使いや形に気を付け、『はす』を書く。 ★「結び」の筆使いや形の違いに気を付けて書こう ○硬筆と毛筆で『はす』を試し書きし、課題をつかむ。</p> <p>○試し書きと教材文字を比較して、気付いたことを話し合う。</p> <p>○「結び」の練習をする。</p> <p>○『はす』の練習をする。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○試し書きと比べて評価する。</p> <p>○硬筆でまとめ書きをする。</p> <p>○硬筆で『はすの花』『すなはま』を書く。</p> <p>3 書写の学習を他の教科に生かす。 ★学習内容が分かりやすいノートのまとめ方を知ろう ○友達のノートと教科書の理科ノートを見て、よい点を話し合う。</p> <p>○分かりやすいノートのとり方の工夫をまとめる。</p> <p>○練習する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・硬筆は、教科書P. 25の「ためし書き」の欄を活用させる。 ・「結び」書き方・形を理解するために、ポイントとなる穂先の動きに注目させる。 ・筆の動きが分かるように水書板や書画カメラで示範する。 【評】話し合いの様子や作品を通して、結びの筆使いと形に対する「知識・技能」を評価する。 ・穂先の動きや形が分かるような練習用紙を用意する。 ・筆使いの難しい部分を示範したり、児童の手を持って書いたりすることで、筆使いを理解させる。 ・字形を整えるためのポイントをワークカードなどで示しておき、字形のよしあしが確認できるようにしておく。 『は』は「横の結び」字形は四角 『す』は「縦の結び」字形はひし形 ・『は』は、縦から左方向に穂先が後からついてくるように運び、穂先のねじれをまともながら、右下方向に止めさせる。 ・『す』は、縦から左方向に穂先が後からついてくるように運び、穂先をまともながら三角に結び、短く払わせる。 ・筆使いの難しい部分を書いて見せたり、児童の手を持って書いたりして、課題解決の支援をする。 【評】練習や作品を通して、「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。 ・結びの筆使いや形、穂先の動きや字形に気を付けて書かせる。 ・基準の達成を確かめさせる。 【評】作品や自己評価を通して、「結び」の筆使いの違いや自分の課題を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する。 ・教科書P. 25の「まとめ書き」の欄を活用させる。 ・「結び」の筆使いと形に気を付けさせる。 ・『は』『す』以外に「結び」のある文字(『ま・な・む』など)を見付け、どのような形で、どんな筆使いをしたらよいか考えながら硬筆で書くように指示する。 ・学級内でまとめ方が分かりやすいノートの例を数点コピーしておき、教科書の例と合わせて工夫されている点を話し合うようにする。 ・P. 26～P. 27の「書き方のひみつ」を見ながらポイントをまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ①文字の大きさ ②読みやすい濃さ ③まとまりごとの余白 ④日付などのきまりごと ⑤テーマやまとめの書き方 ⑥見出しや大事な言葉の書き方、目立つ工夫 ・時間があれば、改行や箇条書きのない文章を分かりやすくまとめる練習をさせる。 【評】練習を通して、「主体的に学習に取り組

<p>○学習したことを生かす。</p> <p>4 文字の大きさや行の中心に気を付けてはがきを書く。 ★文字の大きさや行の中心に気を付けて書こう</p> <p>○はがきの文面と宛名を試し書きし，教材文字と比較して気付いたことを話し合う。</p> <p>○はがき，宛名の書き方を理解する。</p> <p>○都道府県の漢字の読み方と書き方を確かめる。 ○練習する。</p> <p>○まとめ書きをする。</p> <p>○敬老の日のはがきを書く意識を高める。</p>	<p>む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他教科の学習でも，分かりやすいノートのとめ方の工夫を生かすように声掛けをする。 ・書き始めの位置や，行の中心に着目できるようにする。 ・読みやすく伝えるためには，どのようなことに気を付けるとよいのか助言する。 ・送る相手への相手意識から，読みやすさに注意を向けさせるようにする。 <ul style="list-style-type: none"> ①文字の大きさ ②配列 ③上下左右の余白 ④宛名の文字の大きさの順 ・板書で特に注意する漢字を確認する。 ・文面の書き方，宛名の書き方を理解して練習できるようにする。 ・都道府県名は苦手な漢字を特に重点的に練習するようにする。 <p>【評】練習を通して，都道府県名の漢字を確かめて書こうとする「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近くの人と見せ合い，はがきの書き方を確かめるようにする。 <p>【評】練習や作品を通して，文字の大きさや行の中心に対する「知識・技能」を評価する。</p> <p>【評】練習や作品を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p>
--	---

【 備 考 】